



# 日光保育所が休園に

「子どもの声がせんようになるって淋しいですナー」「運動会も、祭りも、皆、一緒にやってきましたけんナー」「なんせ子どもが少ないですけん」と近所の人達。

日光保育所は、今年休園。この四月から、バスで溝口保育所に通うことになりました。

三月二十六日、これ迄お世話になった保育士さんや関係者三十人が集って修了式と休園式が行われました。この保育所は、昭和三十年春と秋、農繁期の季節託児所として開設以来、

小学校あき教室や公民館を利用し、昭和五十七年僻地保育所として開設六十一年に定員三十人の小規模保育所として新築開設されました。

「吉原から二キロの



道を歩いて通園、おじいちゃん達が耕うん機に子どもを五〜六人乗せて送ってくれたり、つくしんぼやわらびを採ったり、ある時は、子ども達が裏山にあがって、いなくさがし廻ったこともありました。

自然を味方にして、いい子達が沢山育っていききました。」と元保育園長の仲田秀子さんや元調理師の中島寿美子さんがあいさつ。  
「たくさんの毎日をここで過ごしたね。何度笑って、泣いて、風邪ひいて、たくさんの友達とここで遊んだね。走って転んでけんかして、さよならばくたちのほいくえん」と元気な歌声で二人の卒園児は日光小学校に入学しました。

農繁期が盛んない時代を経験させていただきました。きびしいました。きびしい

## 編集後記

平成二十年度の超緊縮予算の中で、国の「地域再生戦略」関連予算を有効に活用するため、本町においては特産品ブランドの開発、外国人観光客誘致、企業誘致のための具体的な予算が計上してあります。大阪事務所に役場の管理職を常駐させることになりました。国の制度を積極的に活用することは当然ですが、地域産業興しは一朝一夕にできることではありません。国がやめても事業の継続を期待してあります。

まして企業誘致となると、進出側から見た鳥取県・伯耆町の魅力は何か、冷静に評価しなければなりません。

細田 栄

### 【編集】

議会広報特別委員会

委員長 大森 英一  
副委員長 遠藤 俊寛  
委員 幅田千富美  
中田 壽國

長谷川 盟  
細田 栄

「議会だより」に対するご意見をお待ちしております。

